

# 授業科目 地域福祉論 I

【担当教員名】  豊田 保		対象学年	2	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○	○	
【概要・一般目標：G10】 地域福祉の考え方について理解する。 地域福祉の各種理論と実践について理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 地域福祉の発展過程について理解する。 地域福祉の主体について理解する。 行政組織と民間組織の役割について理解する。 地域福祉に関わる専門職の役割について理解する。 住民参加について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				講義による学習（以下、同じ）
2	地域福祉の発展過程				
3	福祉コミュニティの考え方				
4	現代社会の実際と地域福祉				
5	地域自立生活支援				
6	地域の捉え方（コミュニティ論）				
7	福祉教育の概念と内容				
8	地方分権と地域福祉計画				
9	社会福祉協議会				
10	社会福祉法人				
11	NPO 法人				
12	コミュニティ・ソーシャルワークの考え方				
13	コミュニティソーシャルワークの方法				
14	住民の参加と方法				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座9 地域福祉の理論と方法	市川一宏、上野谷加代子、大橋謙作	中央法規出版	2012・2,600円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 期末試験またはレポートによる			【履修上の留意点】 教科書を個々に読了すること		